



学校だより

並四小は
30周年

運動会特別号

平成24年10月18日

並四小ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/namiki4>
あいさつ運動 「あいさつで 笑顔輝く 並木のまちに」

並木第四小学校
校長 一之瀬 雅子



感動を ありがとう



校長 一之瀬 雅子

30周年を記念した今年の運動会、並四音頭、大玉送り、並四ソーランなど、伝統的な演技を盛り込みました。並四音頭は、創立の頃、子どもたちと先生が創り上げた音頭で、校歌ができる前は、代わりに歌ってもいたようです。30周年にふさわしく、子どもたちの懸命な演技や競技が行われ、大きな声援と惜しみない拍手をいただきました。

団体演技は、それぞれの学年の工夫を凝らした表現が一際輝いていました。花や木の葉を表した衣装をまとい、ハワイアン風の曲に合わせて踊った「みんなでアロハ!!」、オリンピックのテーマソングに合わせてフラフープを使い、ゆったりとした動きで風の様子を表現した「無限∞のわ・わ・わ」、笑顔いっぱいリズムに合わせて三色の旗を振り、一つ一つの動きや隊形移動が見事に揃っていた「F l a g」、ユーロビートのリズムによって、軽快な動きで隊形移動もリズムカルに表現した「GO GO M I C K E Y」、リズムに合わせて、一人技、二人技、三人技が次々と決まり、最後の大技「天空の城」も見事に成功して、集団の動きの美しさを見せてくれた「響一K Y O O」、一生懸命練習し、力いっぱい演技した子どもたちの顔は自信に溢れ、最高の笑顔を見せてくれました。演技が終わり、見送る先生方の満足そうな表情からもやりきったという達成感が伝わってきました。

演技の最後を飾ったのは6年生、渾身の力を振り絞って力強く舞い踊り、最後の運動会にける子どもたちの思いが伝わってきた「30th 伝統並四ソーラン」、心を一つにこんな演技ができる6年生は、さすが「並四の顔」です。大きな感動を与えてくれました（涙が出て困りました）。昨年の手作り法被には、「登り竜に並四の文字」を名入れしていただきました。それをまとって気迫のこもった演技をする6年生とあこがれの眼差しで見つめる下学年、新しい伝統が生まれた瞬間でした。



最後まであきらめずに力を合わせた団体競技、ゴールを目指して懸命に走った徒競走、熱戦を繰り広げた低・高学年リレー、たくさんの感動を与えてくれました。全校競技の「大玉送り」も大変盛り上がりしました。

「全力で競い合い 絆を深めよう 並四30運動会」のスローガンのもとに、広い校庭に響き渡る応援団の声、応援団長の指揮の下、勝利を目指し、声を振り絞って応援しました。用具や決勝、児童係など、係の児童もきびきびと動いていました。最後の片づけまで、自分の役割を自覚し、運動会を成功させるために力を振り絞ってくれた高学年児童、本当に立派でした。

保護者の皆様、地域の皆様には早朝よりご声援いただき深く感謝しております。また、片づけ等にもご協力いただきありがとうございました。PTA運営委員の皆様、学援隊の皆様、スポーツ推進委員、青少年指導員、民生児童委員の皆様には、演技や競技の手伝いから駐輪場の管理、校内パトロールなど、様々な場面でご支援いただき、心より感謝しております。また、長い期間の練習でご迷惑をおかけした近隣の皆様、お陰様で無事に運動会を終了することができました。ありがとうございました。

運動会で学んだ「心を一つに、最後まであきらめず、全力を尽くすこと」を、これからの学校生活に生かし、さらに大きな成果を求めて、2学期後半に進んでいきたいと思っております。次は、30周年式典です。頑張ります。